

「葛飾図書館友の会」が『広報かつしか』で紹介される 一緒にボランティア活動をしませんか

平成28年(2016年)2月25日 No.1651 (4)



「葛飾図書館友の会」は平成28年6月に発足し、地域の方が本に親しみ、図書館における交流や学びの場を作り出していくことを目的に活動を行っているボランティア団体です。約70人のさまざまな世代の会員が館内の図書の手入れや整理をはじめ、児童への本の朗読や自由研究のお手伝い、夕方から夜にかけて映画を上映するナイトシアターの運営など、さまざまな活動を行っています。

葛飾図書館友の会の副野照彦会長は、「地域の皆さんに本を好きになってもいいように、日々取り組んでいます。児童への本の朗読会では、本にあまり関心のなかった子どもたちが目を輝かせる姿が真剣に聴いてくれて、会員はみんな喜んでいられるんですよ。私たちが開催するイベントなどが



地域の皆さん・事業者・区が「地域をより住みやすく、より良いまちにしよう」と考えて協力する「協働の取り組み」が、区内に広がっています。

【協働】
政策企画課協働推進担当
葛飾区(葛飾区役所4階777号)

葛飾図書館友の会

つがいで図書館に来館し、本に親しむ方が増えてくれればとても嬉しく思います」と語りつづけていました。

木が大好きなボランティアが活躍する葛飾の図書館に、皆さんもぜひお越しください。



▲自由研究のお手伝いをする会員の力

葛飾図書館友の会

【活動内容】 図書の清掃や整理、イベントの企画・準備、ボランティアの育成、読書会、CD・DVDの回収等

【年会費】 千円

【申し込み先】 中央図書館(総務課)

【問い合わせ先】 中央図書館(総務課)

〒125-8585 葛飾区本町1-1-1
中央図書館(総務課) 3階
R. creator@jondoc.jp

5の付く日に発行されている「広報かつしか」平成28年2月25日号の“協働のまち かつしか”欄に当会が紹介されました。この欄は昨年末から毎月25日に掲載されはじめたもので、区内の「地域をより住みやすく、より良いまちにしよう」と考えて『協働』の取り組みをしている団体などを取り上げています。

「葛飾図書館友の会」の会則には“区立図書館でのボランティア活動や学習会・交流会などを通じて、区民のための人づくり・まちづくりとして、また生涯学習の場として図書館を守り育てる”と明記されており、既に当会は昨年、区から「葛飾協働まちづくり表彰」を受賞しています。現在、定例化している活動は毎月1回の中央図書館内での図書の清掃・整理、幼児向けの「お話し会」、一般向けのナイトシアター（映画会）、クラシック音楽を中心としたCD・DVDコンサートや2ヶ月に1回のキーワード読書会の開催などです。さらに中央図書館主催の講演会への来館者を会場に誘導する活動もあります。また毎年11月には「友の会ウィーク」を開催して「友の会」による講演会や図書館で活動している団体の企画や成果を発表するイベントを行っています。なお会員には毎月のイベント情報や季刊会報紙「友の会通信」が送られます。ご興味のある方は是非、友の会会員としてボランティア活動と一緒に進めましょう。（入会手続きなどについては4面をご覧ください）

総会終了後

今年もやります！ライブラリーカフェ

本好き、図書館大好きが集まって
お茶を飲みながら楽しくおしゃべり

4月23日(土) 午後3時～ 会議室1

友の会の紹介や図書館の書架整理体験もあります



第9回「葛飾図書館友の会」総会開催のお知らせ

「友の会」はこの4月で9年目の活動に入ります。第9回葛飾図書館友の会総会を左記の日程で開催します。会員の方々は2時より、友の会活動にご興味・ご関心をお持ちの方は午後3時よりのライブラリーカフェに参加下さい。即日入会も可能です。詳しくはポスターやチラシ、ホームページなどでお知らせします。

議 場	日 時
葛飾区立中央図書館 会議室1	平成28年4月23日(土) 午後2時より
葛飾区立中央図書館 会議室1	平成27年度活動及び収支報告、役員改選
葛飾区立中央図書館 会議室1	平成28年度活動計画案及び予算案など

こすげ地区図書館見学

学校の敷地内に3月にオープン、前には中学校も 明るい館内が新鮮、蔵書に地域の特徴を考慮

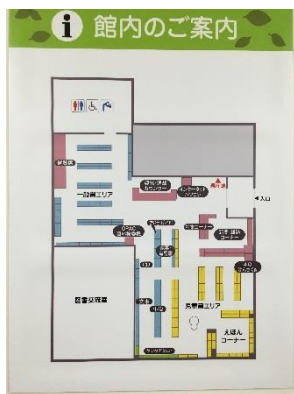
オープンを1週間後に控え、その準備に忙しい職員の方に、館内を案内してもらいました。京成線堀切菖蒲園駅または常磐線綾瀬駅からそれぞれ徒歩で10数分。川の手通りから少し引込んだ小菅3丁目にあります。綾瀬中学校の向かいに位置するこすげ小学校の敷地内に、体育館と隣り合わせの場所に建てられた400㎡の白亜の図書館。館内に入った途端、四方から日差しが入り、その明るさにまず目を見張りました。またこの図書館が採用したというイスのカバーや書棚を示した分類表示パネルなどの色は薄緑に統一され、若々しさを強調しています。

入り口には特集本や新刊本を面出しする特注の展示棚が来館者を出迎えます。ほとんどが新規購入されたピカピカの1万4千冊の一般書エリア、8千冊を揃えた児童書のエリアやえほんコーナー、図書交流室から成っています。CDは1千点以上。

場所柄、児童書の比率を高め、充実させるとともに、シニア層にも使いやすいように、医学・健康関連と趣味を扱った書棚を向かい合わせるといった配慮もされています。最新版の旅行ガイドブックや、また地区図書館では初めてというインターネット・パソコンも1台置いてありました。えほんコーナーは床暖房完備で、下駄箱には子どもたちが脱いだ履物を入れやすいように可愛い両足の靴あとがあしらってありました。



親子連れにも安心の配慮と広い交流室



入り口左の雑誌・新聞が置いてあるコーナーからは児童書エリアやえほんコーナーの様子が一望出来、親子連れでも安心して利用できます。スペースの関係上、閲覧席は窓際6席しかありませんが、いつも満席になることでしょう。図書交流室ではおはなし会や学級招待、保育園招待、プロジェクターを利用したブックトーク、さらにはパネルの展示を含め、臨時閲覧室やギャラリーのような利用も考えているとのこと。書棚と書棚の間は広くゆったりとしており、まだまだ本が並べられるスペースがありました。今後数年のうちにさらに7千冊増やし、3万冊の蔵書を持つ予定といいます。「こすげ地区図書館」は区内13番目の図書館として、小菅地区の区民を結ぶオアシスになっていくことでしょう。3月26日のオープンイベント及び翌27日の記念講演会に友の会会員が自転車整理や誘導に協力しました。

今年も熱戦で盛り上がった「新春かるた大会」

1月3日(日)の暖かく晴れた午後、友の会主催の「新春かるた大会」が開催されました。すでに4回目とあって周知度も高まったためか、参加者は小・中・高校生15人に保護者や一般の方々15人。さらに橋本館長を始め、図書館および友の会スタッフ11名を加えた計41名という盛況ぶりでした。〈かつしかFM〉の取材も入りました。大会前の朝野友の会会長のギターが醸すなごやかな雰囲気は、いよいよかるたの勝負に入ると楽しくもキリリと緊張した空気に一変。序盤の「かつしか郷土かるた」で活躍の低学年の児童の目も真剣そのものでした。次にこれも恒例「坊主めくり」を経て、大人と中高生中心の「小倉百人一首」ではさらにヒートアップ。ちらし取りでのグループ予選を勝ち抜いた2名対2名の紅白戦での優勝者は高校一年生の女子でした。聞けばクラブ活動でかるたをやっているとのこと。圧勝の結果にもうなづかれるものでしたが、反面、レベルの差を考慮したクラス分けが必要かなど、今後への運営方法を考え得る一助となりました。昨今話題の競技かるたに打ち込む高校生を描いたコミック『ちはやふる』(映画の公開も)の影響も少なくないのかもしれませんが。なお今年の友の会からの賞品は1位から4位までにそれぞれ図書券や図書館バッグ。他の皆さんにも会員からの記念品や図書館からのグッズなどの提供があり、熱戦のひとときが締めくくられました。



友の会委員会の紹介「その4」 広報委員会

季刊誌の発行、毎月の活動イベント案内を郵送・メールでお知らせ



広報委員会は友の会の活動を友の会会員や図書館を利用している皆様にご覧いただくために様々なメディアを活用して活動をしています。

友の会の季刊紙として年4回「葛飾図書館友の会通信」を発行。友の会会員に郵送やメールで送信、区内図書館にも配架しています。随時編集委員会を開催して、友の会の各委員会の活動を中心に取材し、連載コラムの担当者や紙面構成を決定。取材・執筆記事を持ち寄り、割付を最終決定し、校正を終了します。現在、約500部を印刷しています。あなたが利用されている区内の図書館で手にとってご覧ください。

また会員向けサービスとして毎月、翌月の友の会や中央図書館のイベントを中心に、月末に葉書やメールで「たんしん」を発行し情報提供しています。月末までに各委員会や中央図書館をはじめ、区内の



図書館でのイベント情報を収集し、郵送・送信を継続しています。

奇数月には中央図書館で「キーワード読書会」を開催しています。毎回、キーワードを決め、選んだ本を持ち寄り、選択した動機や内容をそれぞれ10分程度で紹介し、相互の意見や感想などを述べ合う楽しい時間を過ごしています。新しい発見や興味を覚える瞬間と出会うことができます。

ホームページ、メールも活用

友の会の活動を会員以外の方にもいただくために、現在ホームページを開設しています。このホームページは葛飾区立図書館のホームページにもリンクしており、「友の会通信」や「たんしん」をはじめ、友の会主催のイベントや過去の活動記録や最新情報など、PCやスマホ、携帯でいつでも見ることができます。

記事、イラスト、写真、WEBに覚えのある方 ぜひご参加を！

広報委員会は友の会の各委員会の活動や総会のご案内、毎年11月に開催している「友の会ウィーク」や特別講演会、その他のイベント情報などを各委員会と協力して、適宜、ポスターやチラシを作成・掲示、区内の図書館に掲示・配架させていただいています。是非、友の会に入会していただき、一緒に活動しましょう

葛飾 友の会
検索

クリックで友の会HPへ

アドレス: katsutomo.jimdo.co

友の会活動に積極的なご参加を

葛飾図書館友の会会長 朝野照彦

会員の皆さまに委員会活動に関するご報告とお願いをさせていただきます。まず当会で現在活動中の委員会を確認しますと総務委員会、広報委員会、ナイトシアター委員会、児童サービス応援委員会、CD・DVDコンサート委員会の5委員会です。

一方イベント委員会と展示企画委員会は残念ながら本年度は活動が行われていません。それぞれの委員長ご自身のご多忙や体調上のご事情がatterることですので、やむをえないことです。そこで7月25日の第1回役員会から12月19日の第3回役員会まで継続的に審議した結果、会則10条3項に従い両委員会の承認を取り消すことに致しました。会員の皆さまへのご報告が遅くなりましたことをお詫び申し上げます。

両委員会に所属するメンバーの皆さまにはこれまで友の会の活動にご貢献いただき感謝しております。今後は現在活動中の5つの委員会のどれかに移籍していただきたくことをご検討ください。あるいは、どなたかが中心になってイベント委員会と展示企画委員会を再開していただくことも歓迎します。いつでも役員会にお申し出ください。

特にイベント委員会が担われてきた役割は、友の会の新しい活動を創出することにあります。その意味でアイデアが必要だけでなく、仲間と一緒に新しいボランティア活動を始めるよい機会でもあります。会員の皆さまの中で、「何か新しい活動」に取り組みたいという方は、ぜひ今からご構想いただき、次回の総会または総会後のライブラリーカフェの機会に積極的にご提案いただきたく願います。



3.11 あの地震の時、本棚は倒れなかったが、本は書棚から投げ出され、廊下を塞いだ。そんな反省もあり3月は本棚を整理する。そして、こんな本を見つけてしまう。何度も何度も読み直しているが、手に取ると、また読み始めてしまう危険物。全18巻もあるのでかなりの本の旅となる。

ライトノベルというジャンル。表紙イラストのいかにも若者向けという絵にためらって読まないのは損。策略により放浪する国王ウォルの前に異世界から現れためっちゃくちゃ強い美少女(もとは男子)リィの物語。

「放浪の戦士」「黄金の戦女神」「白亜宮の陰影」「空漠の玉座」「異郷の煌姫」「獅子の胎動」と各巻の題名を見ただけで敬遠してしまいそうだが、とにかく最初の1巻を手にとって欲しい。ファンタジーであり、戦記物であり、実はSFでもある。物語好きにはたまらない展開。第1巻の最後、「大丈夫です。父上。参りましょう。あの方のもとへ！」のあたりでつい感動してしまったら、あとは18巻まであっという間に走り抜ける。ただし、電車内での読書にはお勧めしない。つい吹き出したり、乗り越したりしてしまう事態になること必至なので。

なぜかこの主人公たちが活躍する宇宙船が乱舞する「クラッシュ・ブレイズ」という本格物っぽいSFのシリーズもあり、クロスオーバーの極致。ちみにこのシリーズはノベルスでは年輩の方には買いつらいという声があるという理由で文庫化されている。もちろん葛飾区の図書館にも所蔵されている。ご一読を。

(あべ・きょうこ 友の会広報委員長)

★★★★★ 「葛飾図書館友の会」で一緒に活動しませんか！★★★★★

『友の会』は多くの会員によって活動しています。図書館を利用されている方、活動趣旨に賛同される方々、是非ご入会いただいて、あなたの図書館に関わるいろいろなアイデアを少しずつ実現してみませんか？ 原則として第3土曜日の午後1時から4時まで中央図書館内で、また友の会の開催イベント時でも直接の入会受付を行っていますので、是非ご利用ください。年会費は一般会員1,000円、賛助会員は1口2,000円です。上記の方法が利用できない場合、入会希望者は中央図書館に入会届をご提出の上、年会費を右記の口座に納入してください。図書館での年会費の直接納入はできません。「通信欄」に一般あるいは賛助会員かを明記の上、28年度年会費をご記入下さい。また1口500円の寄付も大歓迎です。払込手数料は窓口では130円、ATMからでは80円です。恐れ入りますが、ご負担をお願いいたします。入会届はHP (<http://katsutomo.jimdo.com/>) からダウンロードできます。

ゆうちょ銀行	口座番号	00100-7-392065
	口座名称	葛飾図書館友の会

お問合わせ先 中央図書館友の会担当者(打越さん、吉村さん、白井さん、川井さん) TEL 03-3607-9201

久しぶりに国内旅行をした。大阪に泊る「なでしこ」応援に。折角の遠出なので街を散策ということ、ガイドブックを図書館から借りて事前学習？ 名所・名物・お土産などを調べ、以前、海外旅行に行く時は、二度と行けない、言葉・歴史・国民性や慣習は勿論、名物料理や名産品など、入手できるデータはエッセイや旅行記も含め、読み漁る。ツアー旅行でもカテゴリーを集めたり、「地球の歩き方」なる「自遊自在」「ワールドガイド」などから得たデータをもとにメモ帳を作り、持参したものだ。教会や美術館めぐりが好きなので、その点だけは下調べの成果は実る。しかしそれ以外は結果的にメモの確認作業になってしまいう感がいなめない▼個人旅行は当然だが、ツアーでも全日自由行動があると、食事をどこで何を…と悩む。ガイドブックに載っているレストランに行くこと決めればひと安心。言葉の壁は高いものだが、店の写真と解説があり、だいたい料金がかめれば安いものだ。ところがである。現地へ行ってみるとその店が見当たらない。持参した本を見せながら聞くと既に閉店したらしいことが判明する。利用したガイドブックが古かったらしい▼やはり旅行に行く時に利用する案内書は最新のものがいいのだ。図書館には多数の国内外のガイドブックが所蔵されているが、出来るだけ最新のものを借りるのをお勧めしたい。貸出頻度の高い本なので大きな図書館は予約待ちの状況になる場合が多い。穴場は何と言っても地区図書館で、意外に最新版が書棚で待っていてくれる。いうまでもなく、気に入った案内書は買って持って行くのがマナーだろう。

(中里広報委員)

色えんぴつ